

感染症情報 6月4日～10日

府下小児科198医療機関(堺市18)から

①感染性胃腸炎	1529例(堺市	90例)
②溶連菌感染症	640例(堺市	47例)
③咽頭結膜熱	225例(堺市	13例)
④突発性発疹	123例(堺市	7例)
⑤みずぼうそう	117例(堺市	10例)

府下インフルエンザ定点304医療機関(堺市28)から

インフルエンザ	15例(堺市	0例)
---------	--------	-----

が報告された。

感染症報告数は前週比1.5%減の2,820件であった。

報告の第1位は感染性胃腸炎で、以下溶連菌感染症、咽頭結膜熱、突発性発疹、みずぼうそうの順であった。

感染性胃腸炎は府下で前週より4%減、堺市では前週より15%増であった。溶連菌感染症は府下で前週より1%減、堺市で前週38例→今回47例で24%増であった。咽頭結膜熱は府下で前週比5%増、堺市で前週6例→今回13例であった。この13例のうち当科が6例報告している。みずぼうそうは府下で前週より11%増、堺市では前週・今回とも10例であった。

麻疹や風疹の報告はなかった。